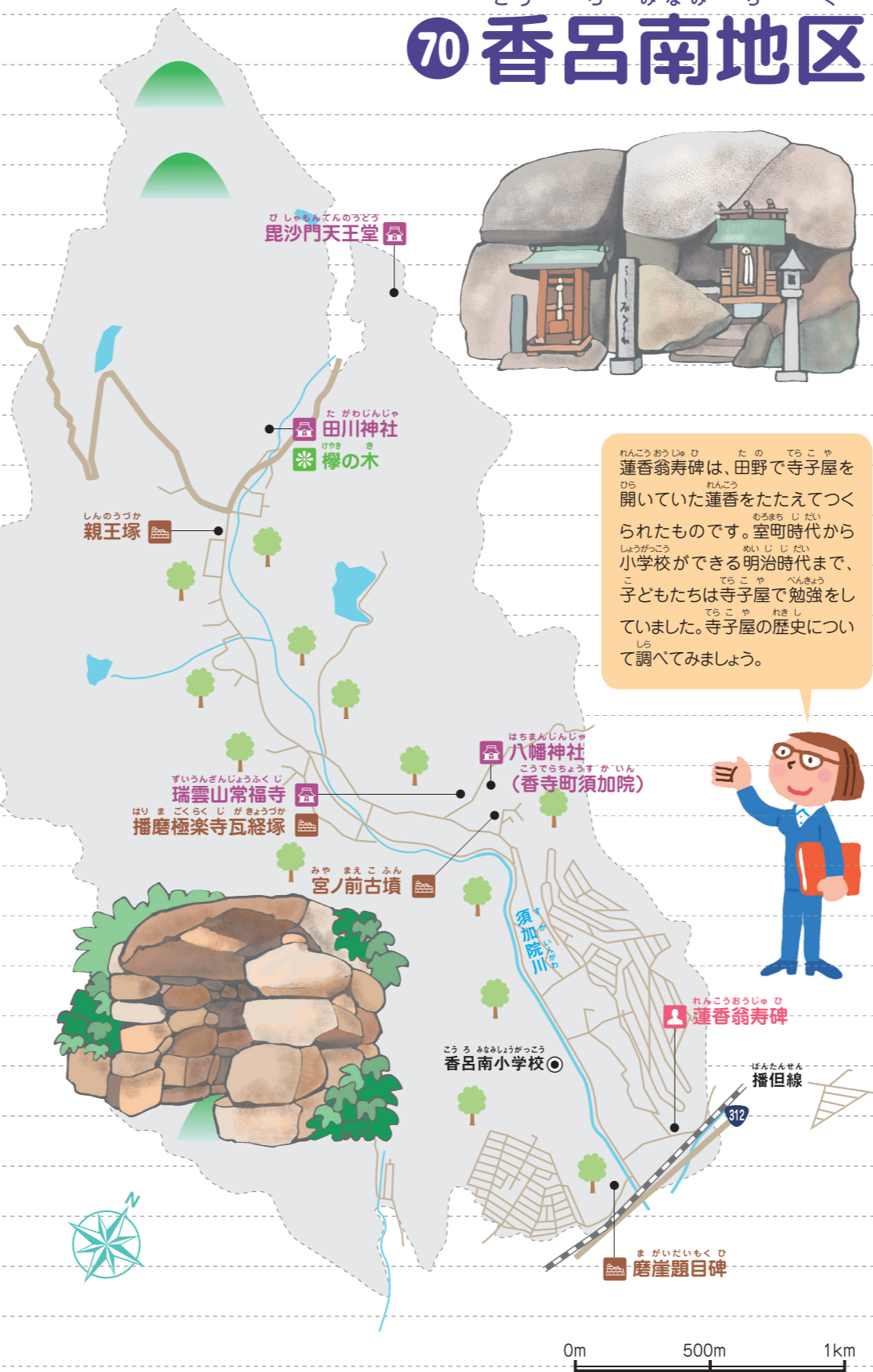
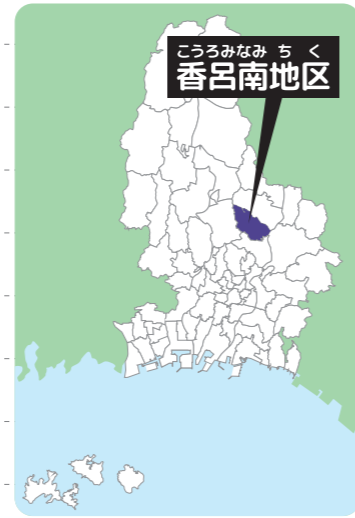


70 香呂南地区



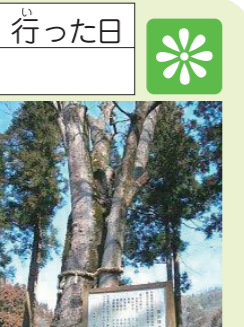
れんこうおうじゅひ たの てらこや
蓮香翁寿碑は、田野で寺子屋を
開いていた蓮香をたたえてつく
られたものです。室町時代から
小学校ができる明治時代まで、
子どもたちは寺子屋で勉強をし
ていました。寺子屋の歴史につい
て調べてみましょう。

しら 調べたこと、
わか 分かったことを
か 書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

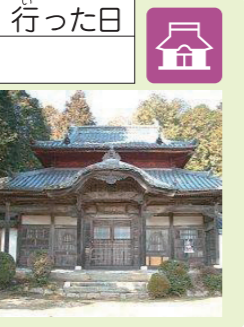
けやき 欅の木
たがわじんじや 田川神社のケヤキは本殿の裏に2本あり、大きい方の木は、樹齢(木の年齢)600年と思われ、幹の周り約6m、高さ約30mを超える大きさです。ケヤキはオスとメスが同じ株で、ニシ科の落葉樹です。春先には若葉とともにうすい黄緑色の花が咲きます。



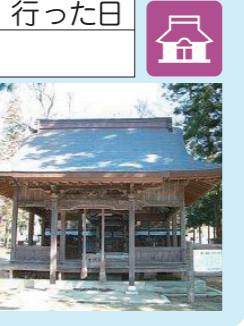
しんのうづか 親王塚
ごたいごてんのう 後醍醐天皇の三番目の子どもである護良親王の子どもの陸良親王の塚と伝えられています。この塚の近くの土地を親王塚垣内、省略して親王垣内とよんでいました。明治時代からは新野といわれるようになりました。しかし地元の人は今でも「シンノウ」とよんでいます。



すいうんざんじょうふくじ 瑞雲山常福寺
げんろく 元禄13年(1700)、隠元禅師の弟子の実伝が、平安時代に建てられた極楽寺の跡地に建て直した黄檗宗のお寺です。中国風の門が美しく、キリシタン灯笼や江戸時代に発見された土でできた阿彌陀坐像など、貴重な文化財が残っています。



たがわじんじや 田川神社
この地区の田んぼをうるおす須加院川に感謝する気持ちをこめて建てられ、広く信仰を集めてきました。社殿の後方には樹齢(木の年齢)550年の大きなケヤキ(市指定天然記念物)など古い木がたくさんあります。



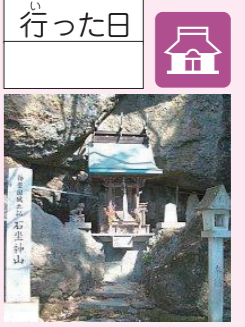
はちまんじんじや 八幡神社(香寺町須加院)
『神崎郡誌』という本に「応神天皇が播磨国神崎郡を訪れたとき、鍬金山を通ってこの場所で休憩されました。後になってこの場所に社殿を建てて天皇をまつりました」と書かれています。当初の社殿は今の社殿の南にあったと考えられます。



はりまごくらくじがきょうづか 播磨極楽寺瓦経塚
じょうふくじ 常福寺の周りは平安時代には播磨極楽寺が栄えていました。天養元年(1144)に禅恵というお坊さんがお経を埋めた塚を築きました。寛政11年(1799)に土でつくられた阿彌陀如来坐像や地藏菩薩座像などが発見されました。国の重要文化財に指定されています。



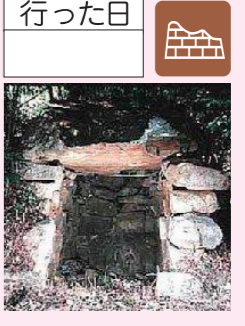
ひしゃもんでんのうどう 毘沙門天王堂
はりまのくにふとぎで『播磨国風土記』に出てくる「石座の神山」で、神の座と信じられた磐座です。石仏立像は、高さが2尺5寸(約76cm)あります。毘沙門天王堂は天保15年(1844)に、一辺が2尺(約61cm)のお堂が建てられ、明治42年(1909)に現在のお堂におさめられました。



まがいだいもくひ 磨崖題目碑
にふのようすい 仁豊野用水が完成した寛文元年(1661)から20年ほど後の天和元年(1681)に、日蓮が亡くなって400年を記念してつくられたといわれています。宝暦2年(1752)に整備されました。



みやまえこふん 宮ノ前古墳
じょうふくじ 常福寺のとなりにある八幡神社の東、小高い場所に東向きに入口があります。横穴式石室で、上の方の土はありませんが、旧香寺町内にある横穴式石室としては一番大きなものです。



れんこうおうじゅひ 蓮香翁寿碑
れんこう わしの けいつう たの てらこや ひら ちが 蓮香(鷲野慧通)が田野で寺子屋を開き、近くからだけでなく遠くからも、ここで勉強するためにたくさんの方がやって来ました。その数は400人もいたと伝えられています。蓮香の弟子たちが60歳の誕生日のお祝いにと石碑を建てました。

